



## バス・トス・聯合日本人會の欄

○清水正雄医学士帰聖

トトト、小笠原の山聖宿中二ヶ月間ノア  
トス病院を預かり親方に患者に接して下  
さつた清水先生は去る二月廿七日聖市ヒ  
帰られました。

癸卯一月早夕，望帝大

ジネコロジアの講習の為め土聖中であつたドト・ル笠原は予定二ヶ月の勉学を了へ此の程帰國された。

此度の專攻は婦人科で從来の諸技術の上に更に一偉力を加へたことになり、最新式の療法を以て一般患者に接する故、在住各位も出来を限りバストス病院を利用せられ度ゝものです。

帰聖御挨拶

トール鑑原の留守中貴地病院に二ヶ月余御世話をなりましたが二月ホセ日愈々聖市へ帰ることになりました  
御地滯在中は一方ならず皆様の御懇情に預かりありがたく御礼申上ります  
一々御挨拶に參りかねます故、紙上を  
以て感謝の意を表します

バストスの各位

清光正雄

歸植御後學

前掲のようにフルソ・ジネコロジア受講の爲めニヶ月聖市へ参り其の間皆様に御心配をかけましたが、此度最新式の療法も学んで帰る上とが未ました。此後は一層の努力を以てバス・トス保健衛生の爲め働き度いります。

ドナルド

四百年祭々典協力會へ  
バ  
ス  
ト  
ス  
か  
ら  
の  
寄  
附  
金

新編中華書局影印

寄附つゞこで渋滞していた聖市四百年祭々典協力委員会への寄附金は各実行委員の努力により中央区と最後として大体一悶落ついた模様、次週あたりより整理を始め、後表の段取りとなる模様である。

四百年祭之典協力會

週報を取つてゐない方がありましたら、す  
ぐでよほど下さり。バストスに住む以上健体に必  
要なんですがう。

う。俳名は箕輪懸嶺舎（本名箕輪金助）  
今農場には厨房がありるので朝夕へんとう  
持ちでタミニオノで通勤するのだが主任  
の金ちやんの外助千男女立名位、之れは本

（俳名は箕輪愚郎金（本名箕輪金助）  
分農場には厨房が無いので朝夕へんとう  
持ちで力士ミニオノで通勤するのだが主に  
の金ちゃんの外助子男女五名位之れは本  
農場人等局から適当に誰かがくるとお  
する。各々が入ってゆくと今餌料作りの  
最中だ。たゞ此の餌料が一寸ふろつて、  
鶏を実行している。イエは水煮にてコ  
マカリにし、蔓は細断機で二、三センチに  
ささみ大鍋で煮沸する。鍋はタンボリル  
と縦に二つ割にしたのや、トコバニア式にて  
タテに据えたのや、之に満量入れて次々  
と一日中火を絶やすことはないと言ふ。  
そこには種鶏四千五百羽が健在だといふ  
ふことだが養鶏日誌を見ると、それは昨年  
十二月の数で一月には四千三百。二月に  
は四千二百と左づいて、種鶏と一型  
の悪いもの反対せぬのは処分してしま  
たり自然淘汰による減りもあるといふ。  
金ちゃんはひとの飼へ育て十二月稚鶏を立  
派に育て、最も脚の黄色い太腿かぶ種鶏を立  
派な立派な鶏ができるんだと聞くと、ホン  
と腕をたたいて、これと、といふ顔をした。  
肉栓が少くとも三一ヨガ差りなくても  
いい大きさへあれば此の通りだと実証するの  
がある。それほどイモ養鶏の効驗はある  
たかであるといふ。  
まじバストスの養鶏家で、産卵が少くて  
國る、育雛困難だ。強健な雌鶏が出来て  
くいといふ人は一度その場農場を見学され  
くとまことに、たゞ見てくる丈でよく一週間  
の間隔が少くとも三一ヨガ差りなくとも  
いい大きさへあれば此の通りだと実証するの  
がある。それほどイモ養鶏の効驗はある  
たかであるといふ。  
前回ラドルフ長の事を書いたが、何の為  
めに此り人が南米へうつ場農場を買ひ受  
けたのか。去頃急逝してしまつたりだ。相手  
の遺言にするところ、三一千コントで、この農  
場をユバに返してやりなさいとの事。電報  
が来たので大将そ場勇は、その交渉の為  
め去程中との話をあつた。ハハ追ひ立て  
と食ふかと心配して分農場を作り、やつと  
仕事が続についたところで、立退かれて、  
人きの和が醸し出す一種の熱が作業の  
上にあらわれていろ様に見えるのである  
金ちゃんはそんな話をしながら、イエ養鶏  
の処方を公開してくれば、  
ベタタ生二四〇K（煮ると一升にへる  
蕷生三三〇K（煮ると一升にへる  
蕷生三三〇K（混氣を与へて一夜おがす）

二二三

1

六一ノマキ解



帰國訪日御挨拶

私こと

一金貳百クルゼーロス也

ウニオン丘区

池田佐次郎殿

此の度墓参り為め帰國致す事と相成り本日（二月十五日）セントス港出帆

のオランダ船ボーウインス号にて出發致ります。バストス上發に際して御見送り

且つ町重なる御饗別を賜はリ厚く御礼申上申します。

一々御禮状差しす可きが本意なれど出發に取給れ莫の意を得ず、失礼を互り見ず週報紙上を借りて御礼申上申御別れの言葉と致します。

尚留守中は家族の筆失何分とも宣教しく御願ひ申上申します。

二月十五日

サントス港  
ボーウインス号船上にて

三野藤次郎

バストスの旨き様

「松田先生講演感想記」

の筆者 M人氏に寄す

冠者本日入手しました週報二〇三号紙上にて貴殿の「松田先生講演感想記」を耳読を

てもらいました。

其記事が次号に又統けられる様で有りますから、其記事が本内に今一度御調へを願へばと思つて急いで之れを書き始めました。

次の記事も見人内にクソ生意氣野郎と怒られ知れませんが、私は斯様な心境で此の手紙を貴殿に差しゆる気持ちになりました。

貴殿のお書き下された記事に対する感想を表して居ります。其れを説明しよう乍らもありませんし、又ひと様の記事を云々する资格も私には有りません。

「生長の家」宗教の教理と申しますが主旨が貴殿と私と意見が相違して居る様で有りますから、黙つて居つたら良い様な者ですが、

「自分の去り度の事、言はざるは勇なく、又不正の行為であり、事小事でも人の為めとなる事なれば積極的に行動せよ！」との教へそのまゝ、勝手な理窟附けて、文の前後もなくく

右は亡父御供養の為めとて當会へ御寄進、有難く頂戴いたしました

昭和十九年三月一日

バストス佛敎會

一金參百鉢也

ムロリア丘区

石田光助殿

右は當會維持費として御寄進下さいました御寫本を感謝し墨儀下り紙上にて御礼申上申します。

昭和十九年三月一日

バストス佛敎會

一金參百鉢也

ムロリア丘区

石田光助殿

私は貴殿と同じく「生長の家」の誌友が信者となり事よりて有りませんから「生長の家」の提灯持つ必要ありません。

只讀書好きから「生命の実相」なる本を取めて冥り中の良いと感じた處のみ、自分での自分の心に書きかせ、修養につとめて居ります

其の關係で「生長の家」の教理と言ふが主旨をほんの少し、それはほんの少し知る程度なります。

貴下が好意をもてなされた松田先生の御講演の内、「一寸半とかであります」と筆は先生の御講演は仕事の關係で私は全く書が出来なかつた

「一、因地復興情況の粗放な観察」

二、物資の豊富を説かれた点

三、ババを國土に似た尊い行為

右の点で私は斯う思ふんです。實際は貴殿の書かれた通り復興情況も物質の点も、ほんとうだらうと思います。直接目で見行くとも訪日人々の口から、又は新聞雜誌からどう信じて居ります。恐らくあの國を賭へての大犠牲ですかう、吾々の一生や二生では中々元通りの状態に返りれん事が本当と思はれます。ヨーロッパ英國の減化を見ても判る筈です。

「生長の家」布教師としての松田先生もえり夏れ位の事は十も十二分も御存じの筈ですが、どうが、教理の上から、其人な暗い面、陰の面は言ふ必要がなかったのだと思はれます。

御 挨 振

慈光の中に皆様御元氣に御消光の御事を嬉しく存上申ます

昨年参らして頂きました折は皆様の心からなる御歓待を頂き異國の涯にありて涙溢る、ほどの歓迎會を御開き頂きぞの上に沖縄戦に敬華の佛の上にべからざる御供を頂きました事を厚く御礼申上申ます。

此の度び入方振りに佛教會の御招きに預り再度参らせて頂き以前にも増して盛會裡に講演會の終了致しました事を何より有難く存じて居ります。

一、参上の上御礼申上度く存じ居りますが其の時間を持ちました紙上をもちまして御礼申上申ます。

帰國後は各地遍歴致しますが、県下の皆様にラジル事情を傳へ、特に御地の話などを御傳さへ頂き度所存で御座います。

何卒御体を御大功になさいまして念佛を御おげ下さい様念じ入ります

昭和二十九年二月十五日

バストス上發にて

上 野 袖 子

山口県人並に  
バストス佛教會 の皆々様

詰の肩書き

聞こえたると上野女士はアラジルと親戚知人が多々、当バストスでも上野前田職方の遠縁に当ろ人トスロリテ巴石田光助氏があり、女史方の縁者に中央バスル・キヌ・森辰市氏がある。

今度上野女士を再度バストスに招くことになった機縁にも、どういふ郷土的なつながりが深かつたといふ事であるが、前場文中に佐賀県人會々の文字があつたが一切をバストス佛教會に委託した以上、それと充分と女史に清一と賞つたといふ、ゆかりの話である。

念服先生歓迎句会

念服還

水着きてパルケの女花火場ぐ 水仙子  
梢を吹く秋めく風が陽立ちくる 修 水  
秋めくやふぐりなき牛肥えそらふ パウロ  
幼な名を呼び友来るとんぼ飛ぶ  
とんぼ飛ぶ街の放送浪花節

ではその教理とは何? ひこむつかしい事は専門家にいつつて、私は只簡單に右の称を明るい思想、暗黒の中にも光を見る(故に

事実が主でなかなか思はれます。  
明るい面のみ見て暗い面は見ん)

一人の恩口は絕對に言はず、賞める事、良い滑んだ中に生活せず、今こまうの新しい事言ふ。

古にのみ生きる

すべとの罪を許し感謝の念を強める  
其他まだ沢山有りオレしようが、大体斯んな事で要は佛教で言ふ外の極楽淨土と此の世の中と人々の恩い言葉。行い等で実現させようとするのが主旨の様見受けられます。故に元より苦いみる恩病も、喧嘩も無ければ病死も死も無い、すべてが感謝の心で互ひに比べ業々暮し合ふといふのです。

ここに書いたり貴殿の好感を持たれなかた魚が稻田先生の立場からと照し合せて、うなづかれらぬがあると思はれます。

尚貴殿が勝組と称する人々に非常に氣を付けて居られる様見受けます、それに就いて私は思ひ思ひます。

真に祖国を热爱する人々は、その美しい心には感謝しますが、それを利用されたのでは、その美いの心がせの事の害になります。

かふ一度「生命の真相」十九巻幸福篇と御読み下さる事を御願ひ致ります

(筆者は淳・田・現・爾・志)

右書簡M人及に廻らたと云ふ事あり  
次号掲載

イヤクリ町  
ロードビヤリア内

來會發着所

バール・ル・ベタリア  
ニ室附住宅と共に

一合コンドにて賣り度  
支拂御相談に応ず

イヤクリ 郡西 45

又は直接バール主人と  
申請下さい

# 日本よりの手紙

日本から新しい種子

受取人

信太兵衛様

米川勝雄様

戸田エト様

高園光六様

北海道  
茨城県  
米川 敏雄  
中村セツ子

差出人

豊田芳雄

中村セツ子

子

國

内

便

原ヨシミ様

安藤とき子様

伊勢鳥省一様

森中兵吉様

弘田明身様

中野けい様

成沼政一様

津山武雄様

安城安市様

梶山半次様

成沼政一様

津山武雄様

成沼政一様

# 太和西瓜

大根、白菜、一功

コベフルール・レボリヨ

美い、草花の種子沢山つきました

美い、草花の種子沢山つきました

アホマル・バーレス街 CP53

アホマル・バーレス街 CP53

こんな料理は一寸いたゞける

材料、古くなった亭主、

新亭主は、そのままだけこないたゞけますから、お料理の必要はございません。ここで申上するものは、あるくまとものの料理法でござります。古くなるとどうしてもクサつて参りますから、まづ匂ひをよくかがり、もし白粉くさいようでしたら、早速さう（おもえつけて泥をはせろよ）に致します。これをスリコギで充分なたいたのほしニンカリと顏色に焼き上ふると、出来上がりでございます。なほ人によつては、マキナリでおろしたりする方もござりますが、一たり、カミソリでおろしたりする方もござりますが、それをすきすると味がわろくなりります。（平成1月号）

# DE BULHA de MILHO

大勉強にてミーリョ 脱穀

御引受申上ひます

遠近問はず本張いたします故

御用命の程頼上ひます

カンボスナーレス街 三五六

南銀文店長吹本様宅ノ向側

友 夫 千 爲 男

俳句念仮遅づ

ロ紅のあと頬にあり汗拭ふ  
アカシアの並木秋めす実をこぼし

晴蟾や鯉池邊り田を作り

平々々に髪結び居り夜・秋

秋扇

氣付日秋めくと目を覚むる

三月三日於志山書院

此の御家庭にも是非一つは、なくてならぬ品

ガスランプの部分品なら何でも揃つて居ます

のこぎり、かんな等大工道具

台所用品、掌用具、自転車等

贈答品一切

貰らへいよりはかり決入荷

バサール キング 木林商店

アホマル・バーレス街 CP1-135